

東京の文化財

東京都教育庁生涯学習部計画課

旧前田侯爵家駒場本邸 (和館)

目次

- 東京都指定文化財の新指定.....1~3
- わがまちの文化財(多摩市).....5
- わがまちの文化財(葛飾区).....4
- 旧前田侯爵家駒場本邸の見学等について.....6

東京都指定文化財の新指定

東京都教育委員会は、東京都文化財保護審議会(会長 佐々木正峰国立科学博物館館長)からの答申を受け、平成19年度の東京都指定文化財の新指定など11件について決定し、3月26日に告示しました。新しく指定した文化財等について紹介します。

I 新しく指定したもの

- 東京都指定有形文化財(考古資料)
狛江市和泉遺跡出土和泉式土器 15点



所有者 狛江市教育委員会
東京航空計器株式会社
甕形土器1点、甕形土器2点、高坏形土器2点、
広口埴形土器4点、鉢形土器2点、小型短頸壺1
点、手づくね小型坏形土器3点 計15点

和泉遺跡は、狛江市和泉の標高約20mの緩斜面に立地する古墳時代中期(5世紀代)の集落遺跡で、昭和14年、東京航空計器株式会社の工事用地から竪穴住居跡が3軒発見され、数十個体の土器がまとまって出土しました。

和泉式土器は、関東地方の古墳時代中期の標識土器(時期区分の基準となる土器)として考古学的意義付けがされ、関東地方だけでなく全国的に広く知られ、定着しています。

- 東京都指定天然記念物(植物)
地蔵院のカゴノキ 1本

所在地 あきる野市雨間1109番
所有者 宗教法人 地蔵院
規模 樹高 約20m 幹周 約4.2m

カゴノキはクスノキ科の常緑樹で、インドからマレーシア、東アジアに分布し、日本では茨城県・石川県以西の本州・四国・九州・沖縄にみられ、温暖な地域に生育することから、東京都は生育のほぼ北限域にあたります。カゴノキは樹皮が鹿の子模様になるので、この名がついています。

地蔵院のカゴノキは、あきる野市の段丘面に位置する地蔵院の墓地域北側の斜面に所在します。北限に近い関東内陸には巨樹は少なく、東京都のカゴノキの中では樹高・幹周とも最も大きなもので、東京都の自然を記念するものとして重要です。

